

- KINZELBACH, R. K., 1971 a. Ordnung Strepsiptera (Fächerflügler). In BEIER, *Handbuch der Zoologie*, 4 (2-2): 1-73. Walter de Gruyter, Berlin and New York.
- 1971 b. Morphologische Befunde an Fächerflüglern und ihre phylogenetische Bedeutung (Insecta: Strepsiptera). *Zoologica, Stuttgart*, 119: 1-256.
- PIERCE, W. D., 1918. The comparative morphology of the order Strepsiptera together with records and descriptions of insects. *Proc. U. S. Natn. Mus.*, 54: 391-501.
- ROSER, C. L. F. v., 1835. Sitzungsbericht. *Trans. ent. Soc. Lond.*, 1 (1), Proc.: LXXIV.

Kontyû, Tokyo, 43(4): 455. December 25, 1975.

長野県伊那産オオニジュウヤホシテントウ群の1型について

安 富 和 男

YASUTOMI, K.: A Form of the *Epilachna vigintioctomaculata* Complex in Ina, Nagano Prefecture

長野県下伊那郡大鹿村沢井地区から、1975年8月、2度にわたって、宮沢謙氏によって採集され筆者に恵与されたアザミマダラテントウ（コブオオニジュウヤホシ）について、成虫の形態、幼虫・蛹の斑紋、食性を調べたところ新知見を見出したので報告する。

図1に示すように、側面から見た成虫翅鞘の隆起度は強く、後方に急傾斜しており、一見、長野県島々産や群馬県土合産アザミマダラテントウに酷似している。



図1 大沼産(左)と伊那産(右)のアザミマダラテントウ。

しかし、幼虫・蛹の斑紋8形質の出現度を百分率で表わし円形グラフに示す小山・滝沢(1974)の方法で検討してみると、意外にも大沼型(北海道大沼, 青森県, 岩手県に分布)のそれに合致する。

また、宮沢謙氏によると、この *Epilachna* は、アザミのほか、ジャガイモ島に多数が発見され、オオニジュウヤホシと混棲しているそうであるし、飼育してみるとジャガイモの葉で順調に生育を完了する。

引用文献

- 小山長雄・滝沢達夫, 1974. オオニジュウヤホシテントウ群の幼虫・蛹の斑紋. *New Entomologist*, 23 (2.3): 35-38.